

夏休み企画 アニメ上映会

【会場】八重山平和祈念館 第二展示室 【観覧料】無料
【上映日時】令和 6 年 8 月 15 日（木）10：00～、13：00～
令和 6 年 8 月 25 日（日）10：00～、13：00～

琉球王国(17 分)

上映時間 10:00～



北斗七星と太陽と海。波間からミルクヤー（弥勒屋の神）やノロ（巫女）が現れる・・・。美しい神秘的な世界。

浜辺のクバの木陰に、琉球人の男が一人、横になって海を眺めている。

男の前を沖縄の歴史が通り過ぎて行く。

明との交易、薩摩藩の侵略（1609）、江戸への慶賀（1710）、ペリー艦隊上陸（1853）、琉球藩の廃止（1879）、皇太子の沖縄訪問（1921）、第2次世界大戦。

沖縄戦の悲劇、米軍の占領・・・。

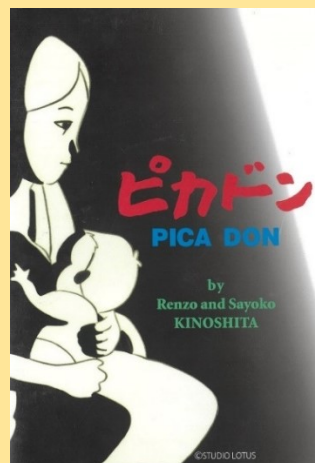
そして現代。琉球人の男は今も変わらず浜辺に横たわっている。

ピカドン(10 分)

1945 年 8 月 6 日、午前 8 時 15 分、人々はその時の太陽の百倍の閃光を “ピカッ” と言い、続いて襲った衝撃波を “ドン” と呼んだ。

原爆は今も多くの人々を苦しめ、その恐ろしさは計り知れない。当時の様子をできるだけ正確に再現したこの作品には、不幸な出来事が繰り返されないよう、平和への祈りが凝縮されている。

広島原爆を初めてアニメーションで描いた作品である。



最後の空襲 くまがや

上映時間 13:00～(29 分)



先の東京大空襲で孤児になってしまった主人公、幸子（さちこ / 7 才）は、熊谷の叔父に引き取られることになり、8 月 13 日、一人、熊谷駅に降り立つ。しかし、従兄弟の良雄や正雄と楽しいひとときをすごしたのも束の間、その翌晩、再び空襲に巻き込まれてしまう。

熊谷市では数時間の内に多くの市民が犠牲になり、生き残った人々も、無残な焼け跡の中で玉音放送を聞かねばならなかった。幼い幸子の命も奪われた。そしてさらに、空襲では助かった良雄も、河原で見つけた不発弾によって不慮の死をとげてしまう。

終戦前夜の 1945 年 8 月 14 日夜、第二次世界大戦最後の空襲を受けた熊谷市の惨劇を、当時の記録や体験者の話・手記を忠実に参照して描いた短編アニメーション。